

音楽の世界で今何が起きている??

阿部 竜之介 『Pepeの視点』

September / 8 / 2023 # 126

---

Trombone & Euphonium奏者の阿部竜之介(Pepe)です。

このメールマガジンでは、僕から見た今の音楽の世界で起きていること、また演奏に関するヒントなどをお届けしていきます。

またメルマガ内でもいろいろな質問に答えていこうと思っていますので、どんどん質問してきてくださいね！

---

## INDEX

- [1] 旬な話題、気になる話題  
『Osaka Shion Wind Orchestra』
  - [2] Pepeのひとりごと  
『セカンドの経験』
  - [3] 演奏のヒント！  
『エチュードをさらおう！』
  - [4] 編集後記
- 

[1] 旬な話題、気になる話題

『Osaka Shion Wind Orchestra』

8月27日（日）、Osaka Shion Wind Orchestraの京都定期公演のコンサートに出演させていただきました（Tromboneでです）。

初めてオジャマしたのですが、とてもいい環境で、リハーサル初日から本番が終わるまで、ずっと楽しくいい時間を過ごすことができました！  
トロンボーンの戸井田くん、石井くんをはじめ、メンバーのみなさんには大感謝です。

またぜひ行きたいな。

当初のプログラムは、EuphoniumのSteven Mead氏がP.Sparke作曲の

新しいコンチェルト「ユーフォニアム協奏曲第4番オマッジョ」を日本初演する予定だったのですが、残念ながらSteveの体調不良のため来日が叶わず、演奏曲目を変更しての開催となりました。

指揮は、Douglas Bostock氏。

今回初めての共演だったのですが、とてもいい方で、楽しく会話をすることもできました。

しかし、彼の日本語の流暢なのには驚きました～！！

あんなに流暢に日本語を話すネイティブじゃない人、初めて会ったかも。

音楽や指揮もとてもよく、本当に充実した時間を過ごすことができました！ぜひまたOsaka Shion Wind Orchestraさんへオジャマしたいと思います！その日が来るまで、また毎日コツコツと努力を積み重ねていこう！：)

## [2] Pepeのひとりごと

### 『セカンドの経験』

先日のOsaka Shion Wind Orchestraのコンサートもですが、その前に行ったイタリアでの講師たちによるアンサンブルのコンサートでも、さらにその前、3月に行ったBBC NOW (BBC National Orchestra of Wales) との北ウェールズ・ツアーでも、セカンド・トロンボーンを演奏する機会を持ってました。

自分のオーケストラでは、僕はファーストしか吹くことができないので、僕にとってはこれまでほとんど経験したことのないことを経験できる貴重な機会でした。

何より、それぞれのコンサートで一緒に共演したメンバーがとてもいいメンバーで、いい勉強、経験になったのは宝です（イタリアでは、隣で吹いていたのは「ムノツィル・プラス」のTromboneのZoltan=Kiss氏=でした）。

これまでに経験があまりにも少なく、自分がセカンドとしての仕事ができるのかわかっていない部分もあったのですが、やってみての率直な感想は、ファーストを吹くときとそれほど大きくは変わらない、ということでした。

例えば、オーケストラでファーストを吹く場合、もちろんセクションを引っ張るという仕事もありますが（主にこの仕事をメインで考えられることが多いように感じています）、オーケストラの中でも弦楽器や木管楽器などとのアンサンブルをすることがほぼ常に要求されています。そういうアンサンブルの仕事と、セクションの中のセカンドとしての仕事の

やり方には大きな違いもなく、「いろいろなバランスを取りながらいい音楽を作り上げていく」ということは同じだということに改めて気づくことができました。

経験不足からの劣等感のようなものがあったのですが、今年のこれらの経験から、それがかなり薄まってきて感じています（もちろん、それで怠慢になるのではなく、これからも常に自分のできる最高の演奏を目指していきますよ）。

この経験を今後にも上手に活かしていこうと思っています。

### [3] 演奏のヒント！

『エチュードをさらおう！』

このメールマガジンを購読してくれているみなさんの中で楽器の演奏をしている人の多くは、少なくとも1冊のエチュードは持っているのではないかと思います。

中には練習時間の確保だけで精一杯という人もいるとは思いますが、エチュード、最近やっていますか？

「昔はやってたなあ」とか「今は基礎練習（ウォームアップ？）と曲の練習だけで手一杯で」と思った人、多いのではないのでしょうか。

先日、ジュラシック・パークのコンサート（映画を同時に上映して、音楽だけ生演奏という形式のコンサート）がありました。ジュラシック・パークの曲では、いろいろなリズムで少し面倒なものもいくつか出てきたりするのですが、そういうものを改めて練習することなくすぐに吹けたのですが、そのときに、いろいろなエチュードをやり続けていてよかったなあ、と改めて実感しました。

もちろん、オーケストラの中にはなかなか吹けないパターンがあって、毎日そこを練習している人もいたのですが、こういうところで「差」が出てくるのだと思いました。

どうしてか？

いろいろなエチュードを練習することによって、いろいろなリズムのパターンを経験しているからです。テンポ、リズム、調性、アーティキュレーションなど、いろいろなものがありますが、そういうものをこれまでどのくらい経験したことがあるのか、という経験値が「差」を作るのだと思っています。

エチュードは、せっかく買ったのだったら、一度練習するだけでなく、少し時間を置いてからでもまた繰り返しやり続けてみてください！  
必ずどこかでやっててよかった～と実感する時が来ますよ！ ;)

---

## 編集後記

イタリアから戻ってきてからもあっという間に月日が流れ、もう9月になりましたねえ。

「9月はまだ夏」という認識で過ごしていますが、そう思わないとやっていけない状況がまだ続いていますね（9月を秋だと想うと毎日が暑すぎて嫌になっちゃう）。

先日、左奥歯が痛み、歯医者へ行きました。

どうやら、歯茎が炎症を起こしていたようなのですが（虫歯はすべて治療しています）、そのときにいろいろとあって、ひょんなことからこれまでとは別の歯医者に行くことになりました。

そこで、いろいろと話を聞いてみると、どうやらかなり強い力で歯を食いしばっているようで、歯の根元（歯茎の奥）の骨がかなり削れていることを教えてもらいました（泣）。

普段から気がつく（車の運転中など）歯を食いしばっていて、気づく度に口を開けて緩めていたりしたのですが、歯医者さんによると、どうやらかなり強い力なんだそうです。

歯ぎしりはあたりなかつたりするようですが、歯ぎしりはごくごく一部の人に起こるだけで、90%以上の人は寝ている間にかなり歯を食いしばっている人がいるんですって。

そこで、これ以上歯の根元の骨を削らないようにするため、マウスピースを作ってもらい、寝るときにそれを付けて寝ることにしました。

自分では全くその影響を感じないのですが、これ以上骨が削れないことを願うばかりです。

みなさんも、気になる人は一度歯医者さんにいってみてもらってくださいね。 ;)  
僕は、すっかり炎症も落ち着いて、元気に過ごせています。

---

阿部 竜之介(Pepe) オフィシャルウェブサイト

<http://www.pepeabe.com>

ご意見、感想、質問などはメールでどうぞ！

info@pepeabe.com

---

©阿部竜之介 『Pepeの視点』の配信停止はこちらから  
<http://www.mag2.com/m/0001601194.html>